

『ウッドデザイン賞2025』最優秀賞をはじめ上位賞が決定！

～12月10日（水）に東京ビッグサイトで「表彰式」「受賞作品展示」を実施します～

このたび、「ウッドデザイン賞2025」の上位賞が決定しました。
最優秀賞として「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」の4作品、優秀賞（林野庁長官賞）、奨励賞（審査委員長賞）、さらに昨年までの大阪・関西万博特別賞の流れを汲み、「日本の技・文化特別賞」が選出されました。
12月10日（水）には「エコプロ2025」（東京ビッグサイト）の特設ステージにて「表彰式」、12月10～12日には特設ブースにて「受賞作品展示」を行います。



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2025

2025- 11
PRESS RELEASE

2025年11月10日（月）

一般社団法人 日本ウッドデザイン協会

- 「ウッドデザイン賞」は、木を使って様々な社会課題を解決する、優れたデザインの建築・空間、プロダクト、活動や研究を表彰し、広く社会へ発信する顕彰制度です。
- 2015年に創設され、今回で11回目の開催となります。一般社団法人日本ウッドデザイン協会が主催するアワードとして、最優秀賞に「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」が授与されます。
- さらに昨年までの大阪・関西万博特別賞の流れを汲み、2025より日本の木を使う技術や木の文化を、主に海外へ発信するにふさわしい作品に対して「日本の技・文化特別賞」が新たに設けられました。
- ウッドデザイン賞2025の応募総数は327点、10月10日には入賞作品206点を発表しました。今回、最終審査を経て「社会課題の複合的な解決をもたらし、イノベーション・新産業創出に寄与する作品」として「最優秀賞」が4点、「優秀賞」が9点、「特別賞」が3点、「奨励賞」が15点と、上位賞31点が選出されました。受賞作品の一覧は「別添資料1」をご参照ください。
- 今後は、12月10～12日（水～金）に東京ビッグサイトで開催される『エコプロ2025』の「森と木で拓くSDGsゾーン」内で「受賞作品展示」を実施します。また12月10日（水）午前にはエコプロ2025内の特設ステージで上位賞の「表彰式」を開催いたします。詳しくは本資料をご覧ください。

総評 赤池 学（ウッドデザイン賞2025審査委員長）

今年度も無事に上位賞が決定し、本賞へご参加いただいた事業者、団体、地域の方々に改めて御礼を申し上げたい。

11年目を迎えたウッドデザイン賞では、これまでも増して、新たな木の時代の到来を予感させる素晴らしい作品に出逢うことができた。そのなかでも上位賞受賞作品は時代を映した秀逸な作品が出揃ったと思う。

建築・空間分野では大規模木造建築を始め、オフィス、観光交流施設や一般住宅まで多様な用途での木材利用が見られ、地域工務店から大手ゼネコンまで木の担い手である事業者の幅が広がっていると感じた。プロダクツ分野は単に木を使うだけでなく、ディテールへのこだわりや使う木の成り立ちに着目した作品が評価を得ている。コミュニケーション分野では川上～川下の新たな協業、新規性あるビジネスモデルの提案が目をつけた。今後の「木材利用の新たな担い手」の登場を予感させる年であった。

主催団体：一般社団法人日本ウッドデザイン協会



JWDA
もっと、木と

木を活用した社会課題の解決をめざす取り組みを「ウッドデザイン」と定義し、「ウッドデザイン」に関わるあらゆる分野において、調査、研究、開発、事業創造、普及及び啓発することを目的として設立された団体（一般社団法人）です。会員相互の連携並びにあらゆるステークホルダーとの対話及び協力によって、木のある豊かな暮らし、木材利用、森林・林業の成長産業化及び地方創生を推進して、カーボンニュートラルやSDGsへの貢献、持続可能な社会の実現を目指しています。

名 称 一般社団法人 日本ウッドデザイン協会

英文名 Japan Wood Design Association（略称：JWDA）

設 立 2021年11月18日

所在地 東京都千代田区大手町1丁目2番1号 Otemachi Oneタワー6階 ワークスタイリング内

会 長 隈 研吾

会 員 192（企業、団体、自治体等、2025年10月時点）

～実施概要～

■名称：ウッドデザイン賞2025

■主催：一般社団法人 日本ウッドデザイン協会

■後援：農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

■応募受付期間：2025年6月20日～ 7月31日（水）

■応募対象分野：建築・空間、技術・建材、プロダクツ、コミュニケーション、調査・研究等、木に関するあらゆるモノ・コトが対象

■表彰部門

ライフスタイルデザイン部門～木を活かして質の高いライフ＆ワークスタイルを提案しているものが対象

ハートフルデザイン部門～木を活かして心身を健やかにしてWell-beingの実現が期待されるものが対象

ソーシャルデザイン部門～木を活かして森林・林業や地域・社会の持続性を向上させているものが対象

■賞の構成 ※応募時のもの

最優秀賞／「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」各1点

優秀賞／「林野庁長官賞」数点×3部門

特別賞／「日本の技・文化特別賞」数点

奨励賞／「審査委員長賞」数点×3部門

ウッドデザイン賞（入賞）／二次審査を通過したものすべて



【参考】「ウッドデザイン賞2025」関連行事（予定）※「エコプロ2025」内で実施

1. 受賞作品展示

【期 間】2025年12月10日（水）～12日（金） 10:00～17:00

【会 場】東京ビッグサイト 東6ホール（エコプロ2025「森と木で拓くSDGsゾーン」内）

【内 容】①上位賞作品展示 ②受賞作品展示（現物、パネル、映像） ③日本ウッドデザイン協会ブース

2. 「ウッドデザイン賞2025」表彰式

【日 時】2025年12月10日（水）午前予定

【会 場】東京ビッグサイト 東ホール（エコプロ2025 特設ステージ）

【内 容】最優秀賞ほか上位賞の表彰、審査委員長コメント等

※上位賞受賞者によるプレゼンテーションなどセミナーは別日にて開催予定。

詳細は決定次第、ウェブサイト等で公表します。

「ウッドデザイン賞」公式ウェブサイト

★最新情報を随時公開しています。

<https://www.wooddesign.jp/>



●受賞作品に関するお問い合わせ先

「ウッドデザイン賞」応募受付担当 E-mail: info2025@wooddesign.jp

※ 電話でのお問い合わせは受け付けておりません

●取材に関するお問い合わせ先

「ウッドデザイン賞」運営事務局（担当：高橋）

E-mail: press2025@wooddesign.jp

※ 受賞作品に関する取材をご希望される方は、上記へご連絡をお願いいたします。

最優秀賞（農林水産大臣賞） 1点



2025年日本国際博覧会 大屋根リング

（株）大林組（東京都）（株）竹中工務店（大阪府） 清水建設（株）（東京都）
藤本壮介（東京都） 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（大阪府） 東畑・梓
設計共同企業体

建築・空間分野 ライフスタイルデザイン部門

内周直径約616m、円周約2kmにわたる圧倒的なスケールの世界最大の木造建築物として、ギネス記録に認定されるなど、万博来場者のみならず広く国内外日本の木の文化と技を発信することに成功している。日本の伝統的な貫接合を採用し、「つくりやすく・解体しやすく・リユースしやすい」架構形式とし、環境負荷を低減する循環型建築である。

最優秀賞（経済産業大臣賞） 1点



ヤマト本社ビルA棟・B棟

日建設計・鹿島建設設計共同体（東京都） ヤマトホールディングス（株）（東京都）
鹿島建設（株）（東京都）

建築・空間分野 ライフスタイルデザイン部門

想定するユーザーは多様な働き方を行うオフィスワーカーであり、床・天井のレベルが段階的に変化する木質の段床空間と、場所ごとに用途が変わる木質の造作家具を組み合わせることで、多様な働き方に応じた居場所を提供、働く場所に様々なバリエーションを作り出している。

最優秀賞（国土交通大臣賞） 1点



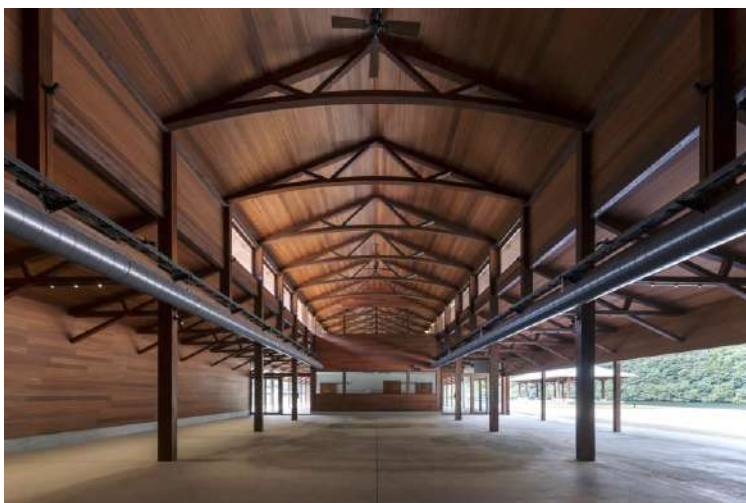
エバーフィールド木材加工場

小川次郎／アトリエ・シムサ＋小林靖／kittan studio＋池田聖太/3916（東京都）
（株）エバーフィールド（熊本県） 山田憲明構造設計事務所（東京都） 小国町森林組合
（熊本県）（株）興和産業（熊本県） ランバー宮崎協同組合（宮崎県）

建築・空間分野 ライフスタイルデザイン部門

地域工務店の木材加工場として計画された。熊本県産の小国杉を使い材長5m以下の小中径製材が互いにもたれかかるように支え合う「木造レシプロカル構造」により、新しい木造無柱空間が実現した。木造建築産業のさらなる活性化のためや地域における大工の育成や技術力の向上を図るためのスペースとしても構想されている。

最優秀賞（環境大臣賞） 1点



美郷町カヌー艇庫 カヌーパークみさと カヌーレIMA

STUDIO YY（東京都）

建築・空間分野 ライフスタイルデザイン部門

同施設は江川水系県立自然公園内に位置し、平時は地元中・高生のカヌー部の部室として使用されるほか、大学の合宿地として招致にも成功し、スポーツ振興が始まっている。美郷町ではバリフェスティバルという行事を行っており、地域経済の起爆剤として、国際文化交流の中心地としても機能しており、木造建築の認知を広めることに寄与しているほか、自然公園来訪にも貢献する施設となっている。

優秀賞（林野庁長官賞） ● ライフスタイルデザイン部門 3点



オートボックス四国中央店

三井ホーム（株）（東京都）（株）オートボックスセブン（東京都）（株）イースペース設計（大阪府）（株）神野工務店（愛媛県）
建築・空間分野

カー用品店というこれまでにない分野における木造建築のチャレンジングな取組である。ツーバイフォー工法と木造トラスの組み合わせによって、大型で開放的な空間を必要とするニーズに応えている。売場と整備工場が連続する空間の大開口部が印象的である。



WOOD FLOOR UNIT 3.2

（株）乃村工藝社（東京都）三菱地所（株）（東京都）MEC Industry（株）（鹿児島県）
技術・建材分野

施工が簡単で誰でも取り入れやすい木製フロアユニットであり、CLTを使い、かつ表面に金物が見えない構造を開発したことで、木の風合いが床一面に広がり美しい空間になる。経年利用で表面に傷がついても、研磨をすることで元の美しさに戻る、サステナブルな製品である点も良い。



クロッサWOOD

（株）イトーキ（東京都）カリモク家具（株）（愛知県）
プロダクツ分野

オフィスでの利用を想定し、折りたたみ可能で軽量化にも配慮したチェアである。座り心地も快適で、身体へのフィット感に優れている。収納や移動しやすさといったオフィスチェアに求められるニーズと木質化の両立に込めている。

優秀賞（林野庁長官賞） ● ハートフルデザイン部門 3点



ユニゲート／ユニゲートS（ウッドタイプ）
広島県産ヒノキ材によるプロトタイプ
（株）熊平製作所（広島県）
技術・建材分野

多くの来訪客を迎えるセキュリティゲートの筐体に木材を使った独自性あるアプローチを評価した。利用者の入退場時にカードなどを直接タッチするため、木ならではの柔らかさ、見た目の優しさが活かせる良いアイデアである。オフィスの木質化のまさに「顔」となる部分に木を使った良作。



ヒノキの草木染め箸 miroku

あわいもの（鹿児島県）
プロダクツ分野

箸という極めて身近な製品でかつ巷には様々なデザインが溢れるなかであって、素朴だが丁寧な仕上げ、多世代で使えるデザインが秀逸な作品である。く草木染によって木の質感がさらに際立ち、持ちやすさも三角と六角を組み合わせた独自の形によって向上している。



無印良品 イオンモール橿原 OpenMUJI

（株）良品計画（東京都）吉野製材工業協同組合（奈良県）（株）関西工務店（奈良県）
コミュニケーション分野

ショッピングモール内の木育広場であることを考慮して、子どもが比較的静かに熱中できそうな遊具をセレクトするなど、場所・用途に合った木育アイテムの提案が見て取れる。大人用の大収納の本棚とゆっくり寛げるエリアにもふんだんに木を活用、家族でゆったりとした時間を楽しめる空間に仕上がっている。

優秀賞（林野庁長官賞） ●ソーシャルデザイン部門 3点



みえ森林・林業アカデミー棟

三重県（三重県）（有） 南勢建築設計（三重県）（株） 山口工務店（三重県）（株） 生田（三重県）（株） カキトー（三重県）
建築・空間分野

教室や談話スペース、調理コーナーなど、ここを訪れる人たちの交流を促す木質感溢れる空間づくりに工夫がある。一般流通材を中心に地域で調達した無垢材を採用、部分的に大径材の積極的な活用もしており、木造建築のショーケース的な役割も担う施設である。



NANT仙台南町

鹿島建設（株）（東京都）（株） 立花建設（青森県）（有） 二和木材（岩手県）
建築・空間分野

公開空地の壁と天井に木を敷き詰めることで、空間そのものが街のたまり場のような雰囲気を醸し出しており、単なる公共の場以上に温かな印象を与えている。端材の積極的な活用が独創的な意匠を実現し、かつ歩留まりを挙げて炭素固定にも寄与している。



楽しみながら森林サイクルを学べる新発想のボードゲーム「森の守り人」

丸紅木材株式会社
コミュニケーション分野

林業体験のボードゲームだが、獣害や自然災害、違法伐採なども登場しリアルな林業の現状を学ぶことができる点が大きなポイントである。小学生から森林、林業関係者まで、知識や経験ごとに気づきの要素があるため、木材利用の意義を広める貴重な役割を担うものである。

日本の技・文化特別賞（日本ウッドデザイン協会会長賞） 3点



Fat Wood Byobu / 肥松の屏風

（株） 藤致滋建築設計（福岡県）

プロダクツ分野 ライフスタイルデザイン部門

厄介者扱いされがちであった松の樹脂を加工技術によって付加価値をつけ、和の風合いを感じさせる素材として生まれ変わらせた。光の具合で多様な表情を見せる屏風は、和洋問わず空間に重厚な雰囲気を与えてくれ、本賞にふさわしいクオリティであると評価した。



「アルテシマ」

FUZOROI.（埼玉県）

プロダクツ分野 ハートフルデザイン部門

木そのものの形状をそのまま活かした、コートや帽子をかけるラックとしての利用を想定しつつも、そのままの存在が1本の樹木を彷彿とさせるユニークな作品である。なめらかな曲線は宮大工の技が活かされている点も本賞にふさわしいものである。



錦鯉の金漆器と、安定生産の為の塗師風呂開発

ストーリーオ（株）（新潟県）

プロダクツ分野 ソーシャルデザイン部門

錦鯉発祥地から生まれた芸術品とも呼べる食器である。輪島塗の技術によって泳ぐ鯉が浮き出るような審美性がある。能登半島地震で被災した、漆を硬化させるための塗師風呂の再開発で実現した、日本文化の融合による作品として評価した。

奨励賞（審査委員長賞）



NISHIGAWA TERRACE

（有）ティーハウス（岡山県） 竹下和宏建築設計事務所（岡山県）（株）木下洋介構造計画（神奈川県）（株）ミナモト建築工房（岡山県）
建築・空間分野

中小規模一方向ラーメンの木造建築の普遍解とも呼べる作品。無理のない屋根型のデザインもよく、建材の使い方に新規性もある。都市空間への中規模商業施設として波及効果を感じさせる。

●ライフスタイルデザイン部門 5点



小浜ヴィレッジ

（株）住まいず（鹿児島県）（株）フジワラテッペイアーキテクツラボ（東京都）
建築・空間分野

飲食・物販・住宅の複合施設だが、全体を回遊できる動線や屋根付きの広場、異なる店舗機能など、多様なニーズに応えながら様々な木材の使い方の工夫がある。来訪客のみならず、施設で働く人にとっても快適な空間である。



モガナタイル

エージーディーピー（株）（兵庫県）
技術・建材分野

レーザー加工機を用いることで、オリジナルのデザインの木製タイルができる。店舗や事務所など、木を使いながら空間に個性を出したい時に適した作品である。



HIHI DADA

飛騨産業（株）（岐阜県）
プロダクツ分野

対で作られた国産ブナの白く美しい質感と丸棒を活かした曲線のデザインが目を引く椅子である。地域の小径木を活用し、職人の手による丁寧なつくりで座り心地もとても良い。



循環葬® RETURN TO NATURE

at FOREST株式会社（兵庫県）能勢妙見山（大阪府）真野寺（千葉県）鈴木 武志（兵庫県）石井 弘明（兵庫県）株式会社 DAISHIZEN（東京都）
コミュニケーション分野

マンション形式の箱が並ぶ棚や墓石が並ぶ郊外型の墓地ではなく、森林を守りつつ自然に還るというコンセプトを近隣住民の理解とともに実現させた点が素晴らしい。終末期のコミュニティデザインとして重要な取組。

奨励賞（審査委員長賞）



MOKU-Model

神谷孝弘（埼玉県）
プロダクツ分野

木製おもちゃとひとことで片付けることができないほど、本格的で安定した走りに驚く。特にサスペンションの動きが秀逸で子どものみならず大人も未了される。デジタル主流の時代にあって、木の温もりが嬉しい作品。

●ハートフルデザイン部門 5点



テーブルトップ・ウェルネス、身につく運動習慣

ストーリーオ（株）（新潟県）
プロダクツ分野

グリップにつながる通常、金属ばねの部分を曲木の技術に置き換えたデザインが素晴らしい。ウェルネス用グッズとしてテーブルの上でいつでも使いたくなる楽しさがある。



HUG ハグチェア

（株）カンディハウス（北海道）
プロダクツ分野

従来にない視点から生まれた椅子の提案。木を抱くことで身体全体で木の温もりを感じることができる点は新しい体験だろう。有機的なフォルムがもつ圧倒的な存在感が人々の目を引き付ける。

奨励賞（審査委員長賞） ●ハートフルデザイン部門 ※続き



REYO 横浜市再利用材プロジェクト
横浜市建築局（神奈川県）NOSIGNER株式会社
（神奈川県）ナイス（株）（神奈川県）地域活動支援センター HIKARI（神奈川県）
コミュニケーション分野

体育館の床のクリエイティブな活用方法のラインナップが素晴らしい。バイオマスチップにして燃やしてしまう前のカスケード利用にデザインの力を込めた良質な活動である。木の来歴を記載しており、そのストーリーに気づかされる。



「木」と「レジリエンス」の融合
安心と学びで未来を育む、クレバリーホームのウッドデザイン
（株）クレバリーホーム（千葉県）
コミュニケーション分野

木の香りや質感など五感で感じる体験と防災教育体験を組み合わせた、スクーリング・モデルハウスという新規性あるビジネスモデルを評価した。快適や安全は直感から入り、解説で補うことで理解が深まる。

奨励賞（審査委員長賞） ●ソーシャルデザイン部門 5点



大阪・関西万博 日本館
（株）日建設計（東京都）
建築・空間分野

木材を中心として国産の自然素材を使いながらミニマムな構成とすることでメッセージを発信した建築物。CLTの新たな活用を試みており、日本の木材利用の技術のプレゼンテーションにもつながっている。



戸田建設オフィス
TODA CREATIVE LAB
戸田建設（株）（東京都）（株）清和ビジネス（東京都）（株）丹青社（東京都）
建築・空間分野

圧倒的な木視率で木と森と人との繋がりを表現した空間であり、ここにいると木のことを考えざるを得ないほどのインパクトがある。生産者と利用者の双方向コミュニケーションにデジタルとアナログの巧みに組み合わせた点が秀逸である。



福岡県酒造組合会館
設計+制作／建築巧房（福岡県）
建築・空間分野

余すことなく木を使っている施設であり、品があり静謐な空間である。端材の利用と大径木の有効的な利用によって、シンプルながら新しい表情のデザインにまとめ上げている。



エコクレオ防腐杭
（株）コメリ（新潟県）
プロダクツ分野

小径材や合板を採った後の芯の部分の材を活用して開発された、造園などに使う木製の杭である。こうした分野での国産材活用は新たなユーザーの扉を拓く意味で重要である。



早生樹等の国産未活用広葉樹材を家具・内装材として利用拡大するための技術開発
国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所（茨城県）山形県工業技術センター（山形県）岐阜県生活技術研究所（岐阜県）福岡県農業総合試験場 資源活用研究センター（福岡県）飛弾産業（株）（岐阜県）調査・研究分野

今後、拡大すると考えられる針広混交林経営の基礎となる研究であり、長期間を要する林地経営の中間段階での収入源確保の可能性にもつながる。今後の社会実装化を期待したい。